

目次

- 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)パートナーシップ事業開催
- アラブ首長国連邦・シャルジャ大学との大学間協定締結
- モンゴル国立大学、ロシア・バロフスク国立経済法律アカデミー、中国・延辺大学との大学間協定締結
- 平成22年度「地球規模課題国際研究ネットワーク事業（国際共同研究等の推進）」に採択
- 平成22年度第1回・第2回科学研究費補助金説明会
- 建築展「札幌聖ミカエル教会」とアトコン・レモド展
- 附属小学校で「命の授業」
- 世界遺産研修会「熊野古道とユネスコ・スクール普及講座」
- 女性研究者支援事業連携機関連絡協議会シンポジウム「連携で開く女性研究者の未来」
- 教育学部長選出

お知らせ & ご報告

- ・就職支援チームから
- ・広報室から
- ・国際交流センターから

## 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)パートナーシップ事業開催



18日 国際環境フォーラムの様子

10月11日～29日、生物多様性交流フェア会場（名古屋市）に、三重大学ブースを設置し本学の環境研究や三重大ブランド環境教育、環境ISO活動等、カーボンフリー大学の取り組みなどの活動を紹介しました。また、「COP10 in 三重」も開催し、14日～15日には、アジア・太平洋地域の7ヵ国（日本・韓国・中国・モンゴル・ロシア・タイ・インドネシア）の子どもや大学生、教職員約200名が、里山学習（亀山）、日本の環境文化体験（関宿）、シャープ（株）などの見学を行いました。さらに大きな反響を呼んだ、勢水丸での本格的な伊勢湾洋上環境学習を行いました。16日、本学講堂において、アジア・太平洋国際環境教育シンポジウムが開かれ、子どもたちからの体験報告や大学生による「アジア・太平洋ユース生物多様性宣言文」が採択されました。18日、生物多様性交流フェア会場において「国際環境フォーラム」を開催しました。



勢水丸にて

18日、生物多様性交流フェア会場において「国際環境フォーラム」を開催しました。

## アラブ首長国連邦・シャルジャ大学との大学間協定締結



10月4日、シャルジャ大学において、標記協定を締結しました。調印式には、内田淳正学長、西村訓弘学長補佐、吉井美知子国際交流センター副センター長らが、シャルジャ大学からは、スルターン・ビン・ムハンマド・アル・カーシム殿下・学長および数10名の大学幹部が、そして在アラブ首長国連邦の渡辺達郎日本大使、在

バイの足木 孝日本総領事らが出席しました。調印式の前後には、医学部を中心としたこれまでの交流に加えて、全学的な幅広い交流の推進について話し合われました。

## モンゴル国立大学、ロシア・バロフスク国立経済法律アカデミー、中国・延辺大学との大学間協定締結

10月15日、学長室において、標記協定を締結しました。調印式には、内田淳正学長、松岡 守理事・副学長、江原 宏国際交流担当学長補佐、樹神 成人文学部長ほか人文学部関係者が、モンゴル国立大学からは、トゥムルオチル・サンジュベグ学長、アレバザル・ガルトバイヤー国際交流担当副学長が、バロフスク国立経済法律アカデミーからは、ヴラジミール・リハービン学長、チアチマロヴィチコ国際交流室長が、延辺大学からは、リウ・ミンチュ国際交流合作処処長、ジ・インソ国際交流合作処課長が出席しました。調印式後は、意見交換等が行われ、交流を深めました。



## 平成22年度「地球規模課題国際研究ネットワーク事業（国際共同研究等の推進）」に採択

農林水産技術会議の標記課題に本学の「食料安全保障強化に向けたサヤシ澱粉の持続生産と利活用に関する戦略的総合研究プロジェクト」（プロジェクトリーダー：江原 宏教授・生物資源学研究所）が採択されました。このプロジェクトでは、本学がコア機関となり、倉敷芸術科学大学、東京農工大学、琉球大学がコソート機関として参加し、野性有用植物であるサヤシを澱粉生産のための地域資源として育てることを目的として、今年度から3年間取り組みます。インドネシアの協定大学と共同でサヤシパイロットファームを設置して長期栽培試験を実施するとともに、食料とバイオ燃料生産の競合を解消するために澱粉抽出残さの再資源化技術の開発や地域資源のマーケティングを行います。

**平成22年度第1回・第2回科学研究費補助金説明会**

7月29日と9月30日、講堂（小ホール）において標記説明会を開催しました。第1回説明会では、学術システム研究センターの松田 幹主任研究員・名古屋大学教授と日本学術振興会の中村 亮研究助成第二課長代理から「科学研究費の最新動向と学術システム研究センターの果たす役割について」の講演があり、第2回目では、久留米大学の児島将康教授から「科研費獲得の方法とコツ」と題した講演がありました。また、担当者から公的研究費の適正な使用について説明があり、約150名が参加しました。

**建築展「札幌聖ミカエル教会」とアントン・レーモンド展**



9月14日～25日の12日間、有形登録文化財レーモンドホール（レモンドホール）の設計者、アントン・レーモンドを取り上げた標記建築展を開催しました。この建築展ではレーモンドの一連の木造建築の中で、レーモンドホールの位置付けがされ、その価値が一層明らかになりました。9月14日には、レーモンドホールの特別公開も行われ、9月18日には、京都工芸繊維大学の松隈 洋教授による講演会「レーモンドと日本」も開催されました。レーモンドホール特別公開には680人、講演会には160人、展示会には約1,000人の来訪があり、大変好評を博しました。

**附属小学校で「命の授業」**

9月29日、(財)ライフプランニングセンターの日野原重明理事長を講師に、4年生の全児童113名を対象の標記授業を行いました。もうすぐ99歳になられる日野原先生は、聴診器を使って友だちの鼓動を聞かせ、「心臓は生きるための道具であって命そのものではない。」また、「命は、風と同じように目に見えないけれども感じるもの。目に見えないものこそ大切にしなければならない。」など、子どもの心に響く話をされ、子どもたちは先生の存在そのものに「命」を感じ、熱心に聴き入っていました。



**世界遺産研修会「熊野古道とユネスコ・スクール普及講座」**

10月9日、本学ユネスコ・スクール委員会はユネスコクラブと連携して標記研修会を開催しました。当日、東紀州周辺に大雨警報が出され、大幅な日程変更を余儀なくされましたが、県内教育関係者および学生72名の参加があり、「熊野古道語り部友の会」の皆さんと有意義な意見交換会などを行うことが出来ました。今後も、ユネスコの理念に沿った取り組みを継続的に実施し、ユネスコ・スクールネットワーク作りを推進していきます。



**女性研究者支援事業連携機関連絡協議会シンポジウム「連携で開く女性研究者の未来」**

10月21日、女性研究者支援事業連携機関連絡協議会は、講堂で科学技術振興調整費採択期間終了後の新たな出発を考える標記シンポジウムを開催しました。三重県等からの来賓、県内7連携機関の長、同専門部会委員ならびに本学関係者120名が出席し、最初に神戸大学の朴木佳緒留人間環境発達学研究所長から「モデル育成事業から次のステップへ」と題する講演があり、県内7連携機関の長によるパネルディスカッションでは、この3年間の活動成果と今後の課題について活発な意見交換が行われました。最後に、内田淳正学長が共同宣言「理系女性が三重を元気に」を代表で発表しました。

**教育学部長選出**

10月13日、教育学部は、次期学部長に八木規夫教授を選出しました。任期は2011年4月1日から2年間です。

**お知らせ&ご報告**

**就職支援チームから**

10月5日～6日、エントリーシート対策としての就職ガイダンスが行われ、5日には329名、6日には425名が参加しました。

**広報室から**

- 10月7日、テレビ愛知「遊びに行こっ!」の番組で雨上がり決死隊の蛭原 徹レポーターより、学長へ突撃インタビューがありました。11月6日(土) 18:30から放映されます。
- 10月19日、松阪市中部中学校30名(写真)がキャンパス内の見学に訪れました。



**国際交流センターから《学長表敬訪問等》**

- |   |   |  |   |
|---|---|--|---|
| <p>○河南省林業庁(中国)</p> <p>1. 日 時:平成22年4月20日(火) 14:00~</p> <p>2. 訪問者:万运龙(WAN YUN LONG) 副庁長<br/>他 各市の林業局の技術職員・行政職員等 20名</p> | <p>○サオア大学(フランス)</p> <p>1. 日 時:平成22年5月11日(火) 10:30~</p> <p>2. 訪問者:ローラン・フロアソン高等学院長・教授</p>                           | <p>○東国大学校(韓国)・・・大学間協定</p> <p>1. 日 時:平成22年6月9日(水) 14:00~</p> <p>2. 訪問者:盧明 姫国際交流院長、金潤鉉国際交流院チーム長</p>          | <p>○上海交通大学医学部(中国)・・・医学部・医学系研究科(学部間協定)</p> <p>1. 日 時:平成22年7月22日(木) 9:15~</p> <p>2. 訪問者:上海交通大学医学部学生2名</p> |
| <p>○タマサート大学医学関係者(タイ)・・・大学間協定</p> <p>1. 日 時:平成22年7月30日(金) 10:00~</p> <p>2. 訪問者:チン・パノン医学部長 他36名</p>                     | <p>○タイ・高校教諭、エネルギー省関係者およびチェンマイ大学関係者訪問団</p> <p>1. 日 時:平成22年8月18日(水) 14:00~</p> <p>2. 訪問者:ナティエ・タマエ工同省ディレクター 他18名</p> | <p>○江蘇大学友好交流団(日本語学生訪日代表団)・・・大学間協定</p> <p>1. 日 時:平成22年8月25日(水) 9:30~</p> <p>2. 訪問者:趙日本語科教員および日本語専攻学生 9名</p> | <p>○瀋陽薬科大学(中国)・・・大学間協定</p> <p>1. 日 時:平成22年10月15日(金) 11:00~</p> <p>2. 訪問者:山形 達也 教授</p>                   |

